

ひごまると学ぼう！熊本城

わたしたちの熊本城



ひごまる

熊本城をつくったのはだれ？

熊本城は、1588年に隈本(熊本)のお殿さまになった加藤清正が、1599年からつくりはじめたお城です。

清正ってどんな人だったの？

城づくりや町づくり、川の工事をした清正は、現在は土木の神様として、熊本では「清正公さん」とよばれています。勇ましいイメージの清正ですが、当時の手紙をみると、城づくりや政治について細かな命令を出したお殿さまでした。



細かなことにも
気がつく人
だったんだね



1562	加藤清正、尾張国(現在の愛知県)に生まれた
1588	清正が隈本(熊本)のお殿さまになった
1599	現在の場所に熊本城をつくりはじめた
1600	関ヶ原の戦い このころ、大天守ができた
1607	熊本城完成 地名を隈本から熊本に変えた
1611	清正、熊本で亡くなった 息子の忠広がお殿さまになった
1632	細川忠利がお殿さまになった
1755	二の丸に藩の学校「時習館」ができた
1871	熊本藩が熊本県となった(廃藩置県)
1874	熊本城が陸軍の管理地になった
1877	西南戦争。天守や本丸御殿が焼けた
1889	地震で石垣などくずれ、陸軍が修理した
1933	宇土櫓など13棟が国宝(のち重要文化財)に、 石垣・堀が史跡に指定
1955	特別史跡に指定
1960	鉄骨鉄筋コンクリートで天守を再建した
1998	城内の建物の復元整備事業がはじまった
2016	平成28年熊本地震。復旧がはじまった

清正が亡くなったあと、熊本城はどうなったの？

清正のあとは息子の忠広が城づくりを続けました。忠広のあとは、小倉(現在の福岡県)から細川忠利が新しいお殿さまとしてやってきて、11代239年にわたって熊本城を守ってきました。その後は日本の軍隊が熊本城におかれて、第二次世界大戦が終わるまで軍が管理していました。

たくさんの人たちに
守られてきたから、熊本城は
今のこっているんだね



今は熊本城ってだれのものなの？

熊本城は国の「特別史跡」という文化財です。文化財とは、お城や刀剣、歌舞伎やお祭りなど、わたしたちの先祖のくらしや知恵を今に伝えるもので、日本国民みんなの財産です。文化財はまちづくりや観光などで、地域を元気にすることにも役立てられています。



城跡(史跡)



刀剣(有形文化財)



歌舞伎(無形文化財)



祭り(民俗文化財)

「特別史跡」とは国の史跡のなかでもとくに重要なもので、国が選んで大事に守っています。「史跡」とはお城やお寺の跡、昔の人のお墓などです。国の史跡は全国に1800か所ほどありますが、特別史跡は全国で63か所しかありませんし、熊本城のようなお城だと全国で9か所しかありません。「特別史跡」である熊本城は、熊本だけではなく、日本全体でもとても大切なお城なのです。



熊本城は
みんなの大切な
たからものなんだ!

